

【Android版】 見えない・見えにくい方の物の管理や識別に

タグ オブ シングス

Tag of Things ものタグアプリ

音声またはテキストでの
データ登録が可能です。

※タグへのデータ登録は
アプリ内にておこなえ
ます

※iPhone版で登録したタ
グも Android版で読め
ます。また、その逆も
可能です。

リリースノートや連絡
先が表示されます。

※何でもお問い合わせください。

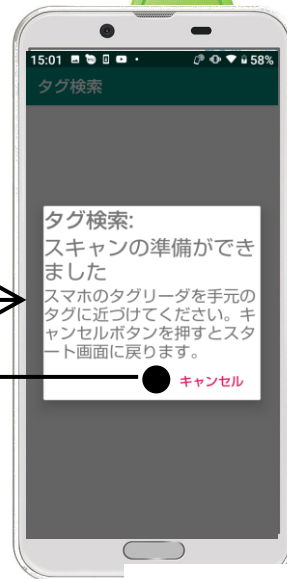


■ダウンロード方法

Google Playにて「ものタグ」で検索
又は右のQRコードからダウンロードできます



スタート画面



スキャン画面

スマホ裏面の下記マークにタ
グを近づけて下さい。

読み取り範囲は1cm~2cm。
正しく読めるとスマホが
小さく振動します。
次の画面が表示されるまで、
そのままお待ちください。



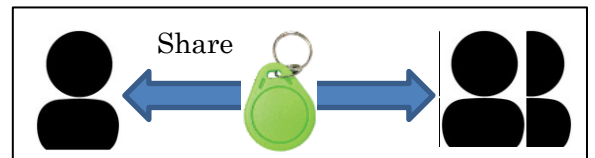
タグにタッチするだ
けで簡単に登録デー
タを確認できます。
※音声データは自動で
再生されます

キャンセルボタンを押すと「スタート画面」に戻ります

詰め替え用のシャンプーやCDなど手触りだけでは分かりにくい物にNFCタグを付けて識別するAndroid版ものタグアプリです。タグに登録された内容をTalkBackを使って読み上げます。点字が難しい方への情報伝達としてもお使いいただけます。

※具体的な使い方は、アプリ内「その他メニュー⇒本アプリの使い方」をご覧ください。

- データの書き換えは何回でもOK!
- 他ユーザとのデータ共有が可能(公開範囲が設定できます)
- 登録データはサーバに保管される為本体の破損や機種変更の際も安心です。※サーバへアップしない設定も選べます
- データは遠隔で編集でき、他のユーザとも共有できます。
※公開範囲を「公開」にしてください



■対応機種

NFC 又はおさいふケータイ機能を持つスマホで、Android4.4以上で動作しますが、TalkBackがインストールされていないなかったり、TalkBack ON状態ではソフトキーボードから入力できないものもあります。できれば、Android9.0以上でお使いください。

TalkBackがインストールされていない場合は、「Android ユーザー補助設定ツール」、「N2 TTS」、「Gboard(キーボード)」、「Google 日本語入力設定」等のアプリを追加でインストールする必要があります。

Android 版ものタグアプリの特徴

- NFC タグは、iPhone 版と共通で使えます。(タグのご購入については、アプリ内「タグの種類と購入方法」メニューでご覧頂けます)
- タグの登録には、端末毎に1つの FCS コードの設定が必要です。2台のスマホで1つの FCS コードを共有することはできません。iPhone 版で登録した FCS コードを Android 版に移行する際は、FCS コードと誕生日をご連絡ください。iPhone 版の FCS コードを解除します。Android 版でその FCS コードを設定してください。元のスマホでは、その FCS コードを使えなくなります。

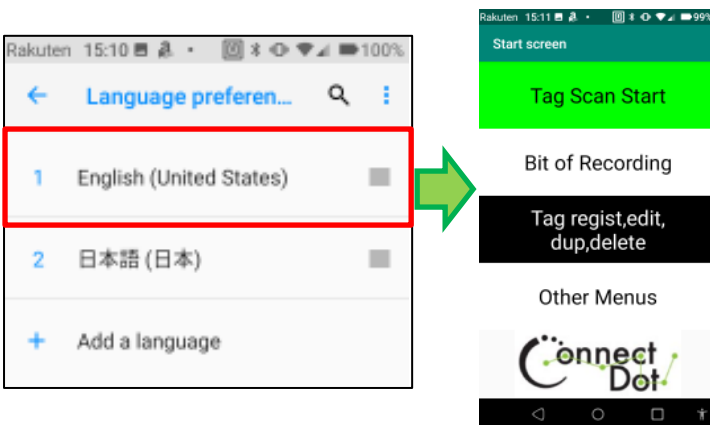
1. NFC 機能を持つ Android タブレットで使える



iPhone 版ものタグアプリは、iPad でも動作しますが、iPad は NFC 機能を持っておらず、NFC タグを読み込むことができませんでした。

Android タブレットで、NFC 機能 (又はおサイフケータイ機能) を持つものであれば、ものタグアプリの全機能を使うことができます。タブレットにキーボードを繋げば、データ入力も容易になります。支援機関でのデータ入力を促進することができます。

2. 言語設定によって、メニュー表示が変わる (多言語対応)



言語設定を日本語以外に設定すると、アプリ内のメッセージが英語になります。

海外の方にも使っていただけます。

※タグに登録されたデータが翻訳される訳ではありません。

※3. 4. については右の QR コードの文書で説明しています。



<http://www.connectdot.jp/ToTDocuments/HowToWriteData.pdf>

3. データ共有によるタグ ID

「TagOfThings://Scan?Uid=タグ ID」という形式の URI をデータ共有機能で受け取ることができます。

これは、iPhone 版の「データ入力要請」というメニューで生成されるディープリンクですが、例えば、メールで受け取ったら、「共有」で、ものタグに転送することによって、対応するタグをスキャンした時と同じ結果が得られ、手元に NFC タグが無くても、情報を受信することができます。※

4. データ共有によるデータ一括入力

「TagOfThings://Write?Uid=タグ ID」(「?Uid=」以下は省略可) という形式の URI と登録するデータをデータ共有機能で受け取ることができます。※



ものタグホームページ : <http://www.connectdot.jp/mono-Tag/> ⇒